

登 別 市

令和 7 年度簡易水道水質検査計画

令和 7 年 4 月

都市整備部 水道室

はじめに

この計画書は、登別市が令和 7 年度に実施する簡易水道の水質検査計画であり、この計画を公表することで検査内容の透明性を高めること、また、利用者の意見を取り入れ、今後の水質等の状況変化に即した計画の立案を行うなど、安全な水道水の提供と適正な水質管理を行うためのものです。

目 次

1. 水質検査に関する基本方針	1
2. 水道事業の概要	1
1) 給水区域及び配水量実績	1
2) 水源の名称、種別、水源流域の状況	4
3) 浄水場の名称、浄水処理方法、使用薬品	4
3. 当水道を巡る原水及び浄水の水質状況及び水質管理上の留意点	5
1) 原水水質の状況	5
2) 浄水水質の状況	5
3) 浄水処理上の留意点	5
4) 水質管理上の注目すべき項目	5
4. 水質検査を行う項目、採水地点、採水頻度及びその理由	5
1) 採水地点	5
2) 検査項目及び検査頻度	5
5. 臨時の水質検査に関する事項	6
6. 水質検査の方法	7
7. 試料の採水及び運搬方法	7
8. 水質検査計画及び検査結果の公表の方法	7
9. その他水質検査計画の実施に際し配慮すべき事項	7
1) 水質検査結果の評価に関する事項	7
2) 水質検査計画の見直しに関する事項	7
3) 水質検査の精度と信頼性保障に関する事項	7
4) 関係者との連携に関する事項	8
10. 留意事項	8

1. 水質検査に関する基本方針

水質検査に関する基本方針は以下のとおりとします。

- 検査地点は給水栓で実施します。また、原水についても原則、取水地点で実施します。
- 検査項目は水道法に定められた基準項目について実施します。
- また、将来にわたり水道水の安全性の確保を図るため水質管理目標設定項目についても実施します。
- 検査頻度は毎月検査、年4回検査、年1回検査を基本とします。項目によっては過去の検査結果等によって3年に1回に回数を減じてよい項目がありますが、水道水の安全性を確認するために、最低でも年に1回実施することとします。
- 水質検査は飲料水の安全を確保するため、また浄水処理を含めて水質をよりよく維持するために実施するものであり、得られた検査結果を速やかに浄水処理等に反映します。
- 検査結果を速やかに公表し、情報を提供するとともに、検査結果を評価して継続的に検査計画を見直していきます。

2. 水道事業の概要

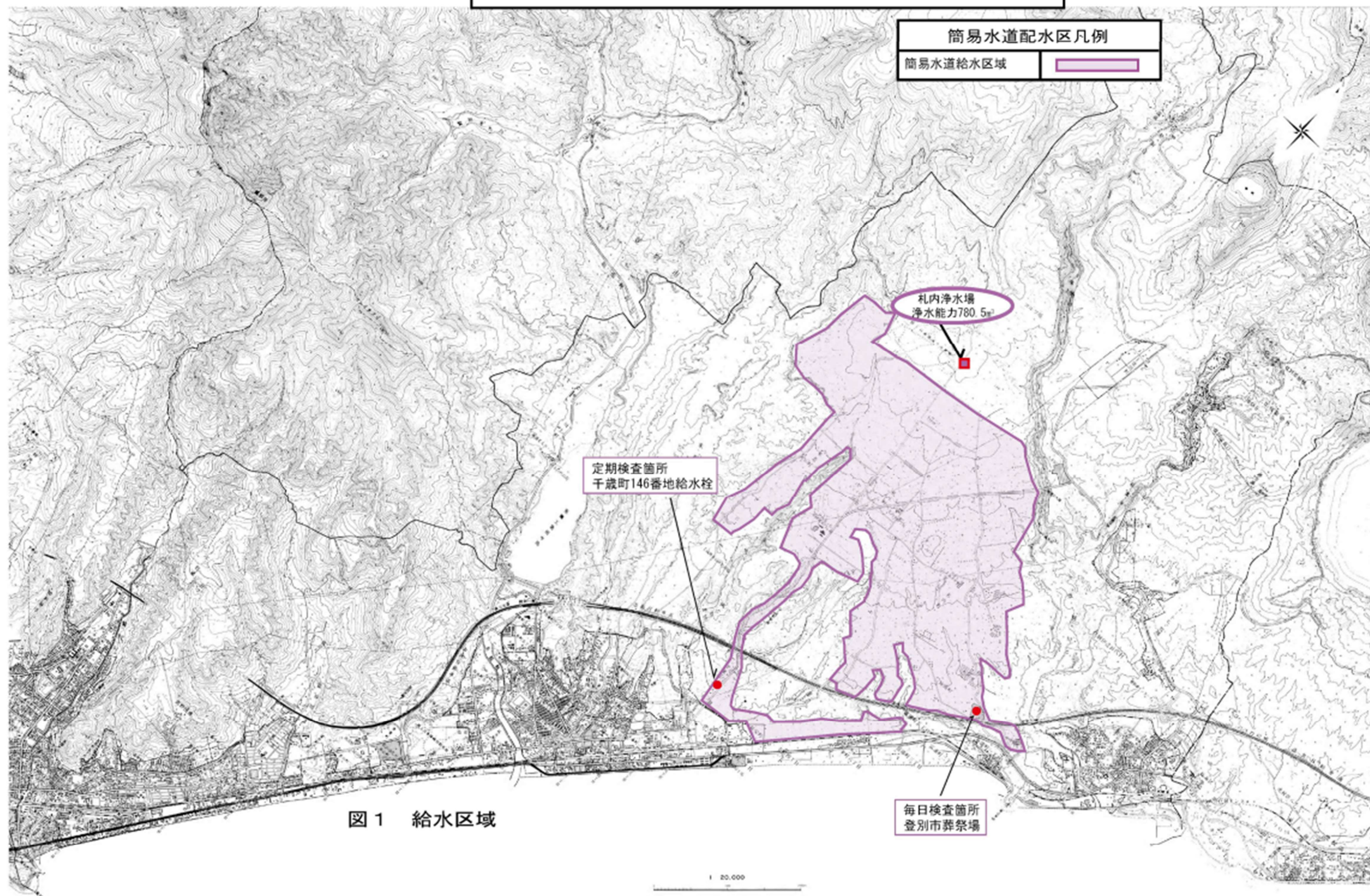
対象となる施設は札内浄水場であり、概要は以下のとおりです。

1) 給水区域及び配水量実績

給水区域は図1に、給水人口、配水量実績は図2に示したとおりです。

登別市簡易水道給水区域図

図 1



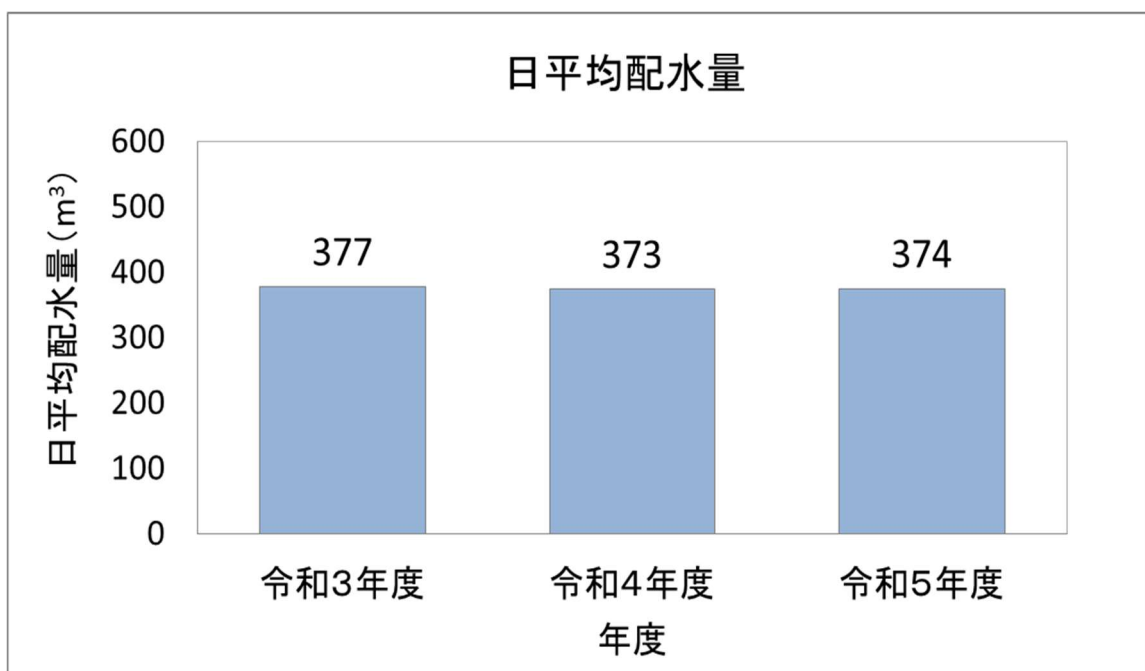
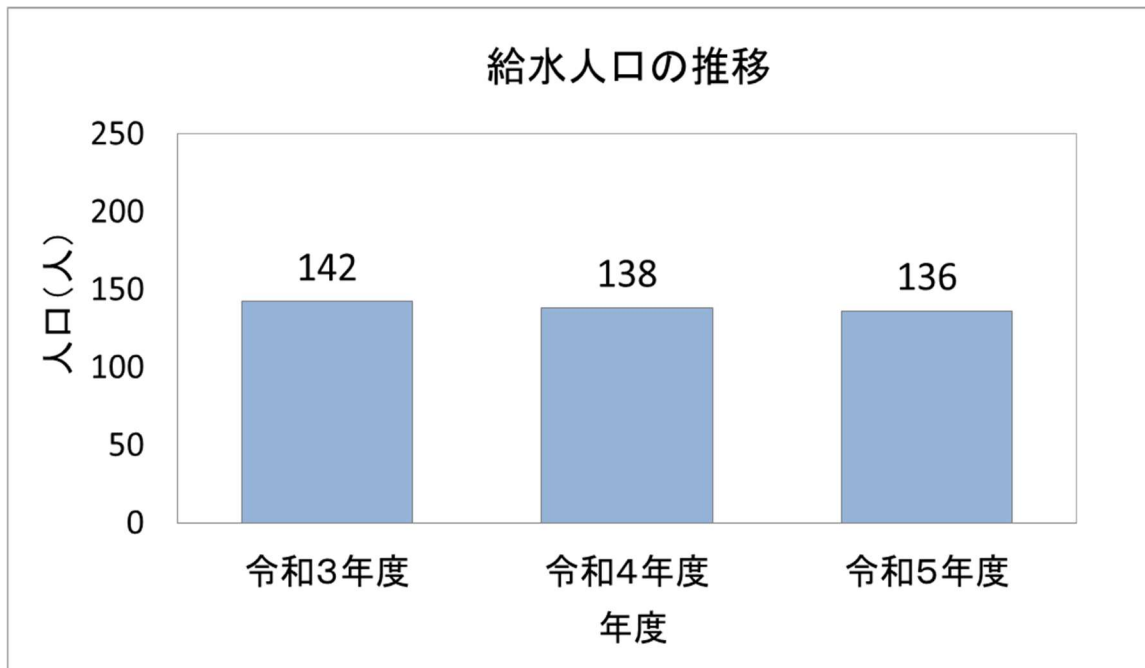


図 2. 給水人口及び配水量の推移

2) 水源の名称、種別、水源流域の状況

(1) 水源の名称、種別

各水源の名称及び種別は以下のとおりです。

- ・ サマツキライバ川表流水
- ・ 札内来馬川表流水
- ・ ニシオマベツ川表流水

(2) 水源流域の状況

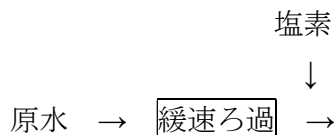
水源の流域の特徴を以下に示しました。

- ・ 原水は極めて清浄です。
- ・ 水源は3河川であり、急流ではありますが崖崩れなどはなく、降雨時にも濁度上昇は少なく、また、取水地点でろ過を実施しています。
- ・ サマツキライバ川及び札内来馬川取水上流域は民有林であり、人為的な汚濁源はありません。
- ・ 原水全体取水量の約80%を占めているニシオマベツ川取水上流域は国有林であり、特に清浄で人為的な汚濁源はありません。

3) 浄水場の名称、浄水処理方法、使用薬品

当市の浄水施設の概要及び特徴を示すと以下のとおりとなります。

- ・ 浄水場名 : 札内浄水場
- ・ 処理方式 : 緩速ろ過
- ・ 処理能力 : 780.5 m³/日
- ・ ろ過池面積 : 74 m² 2池
52 m² 1池
69 m² 1池
常用3池、予備1池
- ・ ろ過速度 : 4.0 m/日
- ・ 浄水処理フロー



- ・ 使用薬品

塩素 : 次亜塩素酸ソーダ

- ・ 目詰まりについては年数回掻き取りを行うとともに、計画的に補砂します。

3. 当水道を巡る原水及び浄水の水質状況及び水質管理上の留意点

1) 原水水質の状況

過去3年間における原水水質検査結果は表1～4のとおりです。

水質検査結果については、定量下限値以下又は過去3年間において著しい変化は見られず、良好な水質を維持していると評価されます。

2) 浄水水質の状況

過去の浄水水質検査結果は表5に示します。水質基準値を超えるような項目はありませんが、過去3年間（令和4年度～令和6年度）において水質基準値の1/5を超えている項目は、塩素酸が令和6年度に0.16mg/L、令和5年度に0.14mg/L検出されています。

3) 浄水処理上の留意点

年数回掻き取りを行うとともに計画的に補砂を行っていますが、長期間継続すると入れ替えのない下層砂の汚染が進行し、適切なろ過が出来ず、濁度等が上昇することが予想されるので、ろ過水濁度を十分に監視し必要に応じて砂の入替えを実施します。

4) 水質管理上の注目すべき項目

以上の状況から、水質管理上の注目すべき項目は以下のとおりとなります。

次亜塩素酸ソーダ：塩素酸、臭素酸

緩速ろ過処理：色度、有機物

その他：鉄、総トリハロメタン

4. 水質検査を行う項目、採水地点、採水頻度及びその理由

1) 採水地点

浄水の水質検査について、簡易水道の給水区域は、浄水場及び配水池が1箇所、配水系統が1本であるため、配水管路の末端に近い箇所(図1に示す地点)の1箇所の給水栓とします。

原水の水質検査は、原則取水地点で行いますが、冬季間は3箇所の混合原水を札内浄水場で採水します。

2) 検査項目および検査頻度

(1) 毎日検査（浄水）

色、濁り及び残留塩素濃度を測定します。

(2)定期検査

①浄水水質検査

検査の項目及び頻度は表 6 のとおりとします。

法で定める水質検査は給水栓水が原則であり、検査項目のうち、毎月検査(9 項目)と消毒副生成物(12 項目)を除く項目については、厚生労働省水道課長通知において、検査回数を以下のとおり減らしてもよいことが示されています。

原則：年 4 回

過去 3 年間の最大値が基準の 1/10 以下の場合：3 年に 1 回以上

過去 3 年間の最大値が基準の 1/5 以下の場合：1 年に 1 回以上

この判断基準に従えば項目によって検査回数を減じることができ、表 7 のとおりとなりますが、水質の安全性を確保するために 3 年に 1 回でよい項目も 1 年に 1 回検査することとします。

②原水水質検査

原水については水質が最も悪化している時期に少なくとも年 1 回、消毒副生成物及び味を除く全項目を実施することが必要とされています。

当市では、水質の安全性を確保すること及び原水水質の状況を把握するために、表 8 に示す定期検査及び当市が水道管理維持に必要と判断された項目について実施することとします。

また、平成 19 年 4 月に施行されたクリプトスポリジウム対策指針を考慮して、原水の安全性を確認するため毎月大腸菌の他に嫌気性芽胞菌検査も行い、併せてクリプトスポリジウム原虫検査を年 1 回することとします。

5. 臨時の水質検査に関する事項

臨時の水質検査は、水質基準に適合しないおそれがある場合に、水質基準の各項目に関して行うこととされており、通知により次のような場合に行うことになっています。また、この場合以外にも異常があった場合は、緊急の水質検査を行うとともに取水停止や浄水処理の変更を行います。

- ・ 水源の水質が著しく悪化したとき
- ・ 水源に異常があったとき
- ・ 水源付近、給水区域に消化器系伝染病が流行しているとき
- ・ 浄水工程に異常があった場合
- ・ 配水管等の大規模な工事を行ったときや水道施設が汚染されたおそれのある場合
- ・ 通常の結果と異なる水質検査結果が得られたとき
- ・ 色や濁り、臭気等、水質障害が発生した場合
- ・ その他、必要と認められるとき

なお、水質検査の項目は表 7 の 1、2、38 及び 46 から 51 までの項目並びに水質基準に適合しないおそれのある項目とします。

臨時の水質検査を行う場合、国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けたものに委託します。

6. 水質検査の方法

検査方法は「水質基準に関する省令の規定に基づき環境大臣が定める方法」に基づいて検査を行います。

自己検査項目：毎日検査

委託検査項目：定期検査は水道法第 20 条国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けたものに委託します。

7. 試料の採水及び運搬方法

試料の採取及び運搬については、受注者の法令で定められた水道検査員が行うこととし、運搬方法については採水終了後に試料をクーラーボックスに入れ保冷し、破損防止の措置を施し運搬します。

8. 水質検査計画および検査結果の公表の方法

検査計画は新しい事業年度が始まる前に策定してホームページで公表します。また、検査結果も同様に公表します。

9. その他水質検査計画の実施に際し配慮すべき事項

1) 水質検査結果の評価に関する事項

検査結果を水質基準と照らし合わせることはもちろん、通常よりも傾向が異なる場合は基準以内であっても浄水処理について監視を強めます。

2) 水質検査計画の見直しに関する事項

項目別検査頻度は、過去 3 年間の検査結果を基に設定します。

検査の結果、高い値が発生した場合は、検査頻度を再検討し、検査回数を増やすなど適時変更して実施します。

また、過去 3 年間の検査結果を踏まえ毎年度、検査計画の見直し策定作業を実施します。

3) 水質検査の精度と信頼性保障に関する事項

検査の委託先は国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けたものとし、委託先の内部及び外部精度管理の実施が適切に行われているか確認します。

水質検査の結果は、速やかに情報資料を取り寄せ確認します。

4) 関係者との連携に関する事項

検査結果は保健所へ報告し、問題がある場合は速やかに対処します。

10. 留意事項

将来にわたり水道水の安全性の確保等に万全を期するため、法に定められている訳ではありませんが、水質基準の検査に準じて表9のとおり年1回、浄水について水質管理目標設定項目の検査を行います。

また、PFOS・PFOAについても原水及び浄水で年1回、検査を行います。

表 1. 札幌浄水場水質検査結果（原水）

	項目名	R4			R5			R6			R4～R6		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
1	一般細菌	21	0	11	16	4	10	12	0	6	21	0	9
2	大腸菌	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—
3	カドミウム及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	水銀及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	セレン及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	鉛及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	ヒ素及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	六価クロム化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	亜硝酸態窒素	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	シアニ化物イオン及び塩化シアン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	フッ素及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	ホウ素及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	四塩化炭素	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	ジクロロメタン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	トリクロロエチレン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	トリクロロエチレン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	ベンゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	塩素酸												
22	クロロ酢酸												
23	クロロホルム												
24	ジクロロ酢酸												
25	ジブクロロメタン												
26	臭素酸												
27	総トリハロメタン												
28	トリクロロ酢酸												
29	ブロモジクロロメタン												
30	ブロモホルム												
31	ホルムアルデヒド												
32	亜鉛及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	アルミニウム及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	鉄及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	銅及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	ナトリウム及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	マンガン及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	塩化物イオン	3.4	2.9	3.2	3.2	2.9	3.1	3.5	3.0	3.3	3.4	2.9	3.2
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	蒸発残留物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	陰イオン界面活性剤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
42	ジェオスミン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
43	2-メチルイソボルネオール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
44	非イオン界面活性剤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
45	フェノール類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	< 0.3	< 0.3	—	< 0.3	< 0.3	—	0.4	< 0.3	—	0.4	< 0.3	—
47	pH値	7.0	6.6	6.8	7.0	6.6	6.8	7.0	6.9	7.0	7.0	6.6	6.9
48	味	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
49	臭気	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—
50	色度	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	—	1.2	< 0.5	—	1.2	< 0.5	—
51	濁度	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	0.2	< 0.1	—	0.2	< 0.1	—

表 2. サマツキライバ川水質検査結果（原水）

	項目名	R4			R5			R6			R4～R6		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
1	一般細菌	65	6	36	65	6	36	40	6	23	65	6	31
2	大腸菌	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	陽性	—	陽性	不検出	
3	カドミウム及びその化合物	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	
4	水銀及びその化合物	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	
5	セレン及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
6	鉛及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
7	ヒ素及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
8	六価クロム化合物	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
9	亜硝酸態窒素	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	
10	アン化物イオン及び塩化アン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
12	フッ素及びその化合物	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	
13	ホウ素及びその化合物	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	
14	四塩化炭素	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	
15	1,4-ジオキサン	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
17	ジクロロメタン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
18	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
19	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
20	ベンゼン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
21	塩素酸												
22	クロロ酢酸												
23	クロロホルム												
24	ジクロロ酢酸												
25	ジフルオロクロロメタン												
26	臭素酸												
27	総トリハロメタン												
28	トリクロロ酢酸												
29	ブロモシクロロメタン												
30	ブロモホルム												
31	ホルムアルデヒド												
32	亜鉛及びその化合物	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	< 0.01	< 0.01	—	0.01	< 0.01	
33	アルミニウム及びその化合物	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.10	0.10	0.10	0.10	0.07	0.08
34	鉄及びその化合物	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	0.06	0.04	0.05
35	銅及びその化合物	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	
36	ナトリウム及びその化合物	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7
37	マンガン及びその化合物	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	
38	塩化物イオン	4.5	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	12	12	12	12	12	12	20	20	20	20	12	15
40	蒸発残留物	51	51	51	51	51	51	64	64	64	64	51	55
41	陰イオン界面活性剤	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	
42	ジェオスミン	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	
43	2-メチルイソボルネオール	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	
44	非イオン界面活性剤	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
45	フェノール類	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	
46	有機物（全有機炭素（TOC）の	0.3	< 0.3	—	0.3	< 0.3	—	0.4	< 0.3	—	0.4	< 0.3	
47	pH値	7.0	6.9	7.0	7.0	6.9	7.0	7.2	7.0	7.1	7.2	6.9	7.0
48	味	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
49	臭気	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	
50	色度	1.7	0.9	1.3	1.7	0.9	1.3	3.7	1.6	2.7	3.7	0.9	1.8
51	濁度	0.8	< 0.1	—	0.8	< 0.1	—	0.8	0.2	0.5	0.8	< 0.1	

表 3. 札内来馬川水質検査結果（原水）

	項目名	R4			R5			R6			R4～R6		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
1	一般細菌	16	3	10	16	3	10	16	0	8	16	0	9
2	大腸菌	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	不検出	
3	カドミウム及びその化合物	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	
4	水銀及びその化合物	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	
5	セレン及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
6	鉛及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
7	ヒ素及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
8	六価クロム化合物	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
9	亜硝酸態窒素	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
12	フッ素及びその化合物	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	
13	ホウ素及びその化合物	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	
14	四塩化炭素	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	
15	1,4-ジオキサン	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
17	ジクロロメタン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
18	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
19	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
20	ベンゼン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
21	塩素酸												
22	クロロ酢酸												
23	クロロホルム												
24	ジクロロ酢酸												
25	ジブromクロロメタン												
26	臭素酸												
27	総トリハロメタン												
28	トリクロロ酢酸												
29	ブromジクロロメタン												
30	ブromホルム												
31	ホルムアルデヒド												
32	亜鉛及びその化合物	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	
33	アルミニウム及びその化合物	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	
34	鉄及びその化合物	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	
35	銅及びその化合物	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	
36	ナトリウム及びその化合物	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0
37	マンガン及びその化合物	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	
38	塩化物イオン	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7	4.8	4.9	4.7	4.8
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	15	15	15	15	15	15	25	25	25	25	15	18
40	蒸発残留物	57	57	57	57	57	57	54	54	54	57	54	56
41	陰イオン界面活性剤	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	
42	ジェオスミン	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	
43	2-メチルイソボルネオール	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	
44	非イオン界面活性剤	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
45	フェノール類	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	
46	有機物（全有機炭素(TOC)の量）	< 0.3	< 0.3	—	< 0.3	< 0.3	—	< 0.3	< 0.3	—	< 0.3	< 0.3	
47	pH値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.2	7.1	7.2	7.2	7.0	7.1
48	味	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
49	臭気	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	
50	色度	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	
51	濁度	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	

表 4. ニシオマベツ川水質検査結果（原水）

	項目名	R4			R5			R6			R4～R6		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
1	一般細菌	50	14	32	50	14	32	58	8	33	58	8	32
2	大腸菌	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—	陽性	不検出	—
3	カドミウム及びその化合物	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—
4	水銀及びその化合物	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—
5	セレン及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
6	鉛及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
7	ヒ素及びその化合物	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
8	六価クロム化合物	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—
9	亜硝酸態窒素	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
12	フッ素及びその化合物	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—
13	ホウ素及びその化合物	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—
14	四塩化炭素	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—
15	1,4-ジオキサン	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
17	ジクロロメタン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
18	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
19	トリクロロエチレン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
20	ベンゼン	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—
21	塩素酸												
22	クロ酢酸												
23	クロホルム												
24	ジクロロ酢酸												
25	ジクロロクロロメタン												
26	臭素酸												
27	総トリハロメタン												
28	トリクロロ酢酸												
29	ブロモジクロロメタン												
30	ブロモホルム												
31	ホルムアルデヒド												
32	亜鉛及びその化合物	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—
33	アルミニウム及びその化合物	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
34	鉄及びその化合物	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—
35	銅及びその化合物	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—
36	ナトリウム及びその化合物	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
37	マンガン及びその化合物	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—
38	塩化物イオン	2.9	2.6	2.8	2.9	2.6	2.8	3.0	2.8	2.9	3.0	2.6	2.8
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	11	11	11	11	11	11	20	20	20	20	11	14
40	蒸発残留物	46	46	46	46	46	46	42	42	42	46	42	45
41	陰イオン界面活性剤	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—
42	ジェオスミン	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—
43	2-メチルイソボルネオール	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—
44	非イオン界面活性剤	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—
45	フェノール類	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—
46	有機物（全有機炭素(TOC)の量）	0.3	< 0.3	—	0.3	< 0.3	—	0.3	< 0.3	—	0.3	< 0.3	—
47	pH値	7.0	6.8	6.9	7.0	6.8	6.9	7.1	7.0	7.1	7.1	6.8	7.0
48	味	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
49	臭気	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—	異常あり	異常なし	—
50	色度	0.8	< 0.5	—	0.8	< 0.5	—	0.9	< 0.5	—	0.9	< 0.5	—
51	濁度	0.2	< 0.1	—	0.2	< 0.1	—	0.3	< 0.1	—	0.3	< 0.1	—

表 5. 札内浄水場水質検査結果（浄水）

	項目名	基準値	R4			R5			R6			R4～R6		
			最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
1	一般細菌	100個/mL以下	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	—	不検出	不検出	—	不検出	不検出	—	不検出	不検出	
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	—	< 0.0003	< 0.0003	
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	—	< 0.00005	< 0.00005	
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
8	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	—	< 0.004	< 0.004	
10	シアニ化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	—	< 0.05	< 0.05	
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	—	< 0.0002	< 0.0002	
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
18	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
20	ベンゼン	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
21	塩素酸	0.6mg/L以下	0.10	0.06	0.08	0.14	0.08	0.11	0.16	0.08	0.12	0.16	0.06	0.10
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
23	クロロホルム	0.06mg/L以下	0.003	< 0.001	—	0.001	< 0.001	—	0.005	< 0.001	—	0.005	< 0.001	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.004	< 0.003	—	< 0.003	< 0.003	—	0.004	< 0.003	—	0.004	< 0.003	
25	ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.002	< 0.001	—	< 0.002	< 0.001	—	< 0.002	< 0.001	
26	臭素酸	0.01mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.006	< 0.001	—	0.005	< 0.001	—	0.008	< 0.001	—	0.008	< 0.001	
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.003	< 0.003	—	< 0.003	< 0.003	—	0.003	< 0.003	—	0.003	< 0.003	
29	ブromクロロメタン	0.03mg/L以下	0.002	< 0.001	—	< 0.002	< 0.001	—	0.003	< 0.001	—	0.003	< 0.001	
30	ブromホルム	0.09mg/L以下	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	—	< 0.001	< 0.001	
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	< 0.008	< 0.008	—	< 0.008	< 0.008	—	< 0.008	< 0.008	—	< 0.008	< 0.008	
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	< 0.01	< 0.01	—	0.01	< 0.01	
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	—	< 0.03	< 0.03	
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	—	< 0.01	< 0.01	
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	3.3	3.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.3	3.5
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	—	< 0.005	< 0.005	
38	塩化物イオン	200mg/L以下	3.7	3.1	3.4	3.6	3.2	3.4	4	3.4	3.7	4.0	3.1	3.5
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下	13	13	13	16	16	16	20	20	20	20	13	16
40	蒸発残留物	500mg/L以下	41	41	41	50	50	50	44	44	44	50	41	45
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	—	< 0.02	< 0.02	
42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	—	< 0.000001	< 0.000001	
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	—	< 0.002	< 0.002	
45	フェノール類	0.005mg/L以下	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	—	< 0.0005	< 0.0005	
46	有機物（全有機炭素(TOC)の量）	3mg/L以下	0.3	< 0.3	—	< 0.3	< 0.3	—	0.4	< 0.3	—	0.4	< 0.3	
47	pH値	5.8以上8.6以下	7.2	6.8	7.0	7.2	6.8	7.0	7.3	7.0	7.2	7.3	6.8	7.1
48	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	
49	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	—	異常なし	異常なし	
50	色度	5度以下	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	—	< 0.5	< 0.5	
51	濁度	2度以下	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	—	< 0.1	< 0.1	

表 6. 水質検査頻度

◎:毎月 △:年4回 □:年1回 ▼:春から夏にかけて月1回

	検 査 項 目	検 査 頻 度
1	一般細菌	◎
2	大腸菌	◎
3	カドミウム及びその化合物	□
4	水銀及びその化合物	□
5	セレン及びその化合物	□
6	鉛及びその化合物	□
7	ヒ素及びその化合物	□
8	六価クロム化合物	□
9	亜硝酸態窒素	□
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	△
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	□
12	フッ素及びその化合物	□
13	ホウ素及びその化合物	□
14	四塩化炭素	□
15	1,4-ジオキサン	□
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	□
17	ジクロロメタン	□
18	テトラクロロエチレン	□
19	トリクロロエチレン	□
20	ベンゼン	□
21	塩素酸	△
22	クロロ酢酸	△
23	クロロホルム	△
24	ジクロロ酢酸	△
25	ジブロモクロロメタン	△
26	臭素酸	△
27	総トリハロメタン	△
28	トリクロロ酢酸	△
29	ブロモジクロロメタン	△
30	ブロモホルム	△
31	ホルムアルデヒド	△
32	亜鉛及びその化合物	□
33	アルミニウム及びその化合物	□
34	鉄及びその化合物	□
35	銅及びその化合物	□
36	ナトリウム及びその化合物	□
37	マンガン及びその化合物	□
38	塩化物イオン	◎
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	□
40	蒸発残留物	□
41	陰イオン界面活性剤	□
42	ジェオスミン	▼
43	2-メチルイソボルネオール	▼
44	非イオン界面活性剤	□
45	フェノール類	□
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	◎
47	pH値	◎
48	味	◎
49	臭気	◎
50	色度	◎
51	濁度	◎

表 7. 水質検査頻度(簡略化の可能性)

給水栓最大値(R4～R6年度)

◎:毎月 △:年4回 □:年1回 ■:3年1回 ▼:春から夏にかけて月1回

	検査項目	基準値	最大値	検査頻度	備考
1	一般細菌	100個/mL以下	0	◎	省略不可項目
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	◎	省略不可項目
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	< 0.0003	■	過去3年間の結果が基準の1/10以下は3年に1回
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	< 0.00005	■	同上
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	< 0.001	■	同上
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	< 0.001	■	同上
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	< 0.001	■	同上
8	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	< 0.002	■	同上
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	< 0.004	■	同上
10	シアニ化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	< 0.001	△	省略不可項目
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.4	■	過去3年間の結果が基準の1/10以下は3年に1回
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	< 0.05	■	同上
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	< 0.1	■	同上
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下	< 0.0002	■	同上
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	< 0.005	■	同上
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	< 0.001	■	同上
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	< 0.001	■	同上
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.001	■	同上
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	< 0.001	■	同上
20	ベンゼン	0.01mg/L以下	< 0.001	■	同上
21	塩素酸	0.6mg/L以下	0.16	△	省略不可項目
22	クロ酢酸	0.02mg/L以下	< 0.002	△	省略不可項目
23	クロホルム	0.06mg/L以下	0.005	△	省略不可項目
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.004	△	省略不可項目
25	ジブロモクロメタン	0.1mg/L以下	0.002	△	省略不可項目
26	臭素酸	0.01mg/L以下	< 0.001	△	次亜塩素酸ソーダを使用しているので省略不可
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.008	△	省略不可項目
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.003	△	省略不可項目
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.003	△	省略不可項目
30	ブロモホルム	0.09mg/L以下	< 0.001	△	省略不可項目
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	< 0.008	△	省略不可項目
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	0.01	■	過去3年間の結果が基準の1/10以下は3年に1回
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	< 0.02	■	同上
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	< 0.03	■	同上
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	< 0.01	■	同上
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	3.6	■	同上
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	< 0.005	■	同上
38	塩化物イオン	200mg/L以下	4.0	◎	省略不可項目
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	20	■	過去3年間の結果が基準の1/10以下は3年に1回
40	蒸発残留物	500mg/L以下	50	■	同上
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	< 0.02	■	同上
42	ジオキシ	0.00001mg/L以下	< 0.000001	▼	臭気発生の可能性のある時期に月1回
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	< 0.000001	▼	臭気発生の可能性のある時期に月1回
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	< 0.002	■	過去3年間の結果が基準の1/10以下は3年に1回
45	フェノール類	0.005mg/L以下	< 0.0005	■	同上
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.4	◎	省略不可項目
47	pH値	5.8以上8.6以下	7.3	◎	省略不可項目
48	味	異常でないこと	異常なし	◎	省略不可項目
49	臭気	異常でないこと	異常なし	◎	省略不可項目
50	色度	5度以下	< 0.5	◎	省略不可項目
51	濁度	2度以下	< 0.1	◎	省略不可項目

表 8. 原水の水質検査計画

◎:毎月 △:年4回 □:年1回

	検 査 項 目	サマツキライバ川	札内来馬川	ニシオマベツ川	3河川混合原水
		6～11月	6～11月	6～11月	4,5,12～3月
1	一般細菌	◎	◎	◎	◎
2	大腸菌	◎	◎	◎	◎
3	カドミウム及びその化合物	□	□	□	
4	水銀及びその化合物	□	□	□	
5	セレン及びその化合物	□	□	□	
6	鉛及びその化合物	□	□	□	
7	ヒ素及びその化合物	□	□	□	
8	六価クロム化合物	□	□	□	
9	亜硝酸態窒素	□	□	□	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	□	□	□	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	□	□	□	
12	フッ素及びその化合物	□	□	□	
13	ホウ素及びその化合物	□	□	□	
14	四塩化炭素	□	□	□	
15	1,4-ジオキサン	□	□	□	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	□	□	□	
17	ジクロロメタン	□	□	□	
18	テトラクロロエチレン	□	□	□	
19	トリクロロエチレン	□	□	□	
20	ベンゼン	□	□	□	
21	塩素酸				
22	クロロ酢酸				
23	クロロホルム				
24	ジクロロ酢酸				
25	ジブロモクロロメタン				
26	臭素酸				
27	総トリハロメタン				
28	トリクロロ酢酸				
29	ブロモジクロロメタン				
30	ブロモホルム				
31	ホルムアルデヒド				
32	亜鉛及びその化合物	□	□	□	
33	アルミニウム及びその化合物	□	□	□	
34	鉄及びその化合物	□	□	□	
35	銅及びその化合物	□	□	□	
36	ナトリウム及びその化合物	□	□	□	
37	マンガン及びその化合物	□	□	□	
38	塩化物イオン	◎	◎	◎	◎
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	□	□	□	
40	蒸発残留物	□	□	□	
41	陰イオン界面活性剤	□	□	□	
42	ジェオスミン	□	□	□	
43	2-メチルイソホルネオール	□	□	□	
44	非イオン界面活性剤	□	□	□	
45	フェノール類	□	□	□	
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	◎	◎	◎	◎
47	pH値	◎	◎	◎	◎
48	味				
49	臭気	◎	◎	◎	◎
50	色度	◎	◎	◎	◎
51	濁度	◎	◎	◎	◎
	大腸菌(定量検査)	◎	◎	◎	◎
	嫌気性芽胞菌	◎	◎	◎	◎
	クリプトスポリジウム	□	□	□	

表 9. 水質管理目標管理設定項目

年1回

	項 目	札内浄水場(浄水)	札内浄水場(原水)
1	アンチモン及びその化合物	☐	
2	ウラン及びその化合物	☐	
3	ニッケル及びその化合物	☐	
4	欠番		
5	1,2-ジクロロエタン	☐	
6	欠番		
7	欠番		
8	トルエン	☐	
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	☐	
10	亜塩素酸	☐	
11	欠番		
12	二酸化塩素	☐	
13	ジクロロアセトニトリル	☐	
14	抱水クロラール	☐	
15	農薬類		
16	残留塩素	☐	
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		
18	マンガン及びその化合物		
19	遊離炭酸	☐	
20	1,1,1-トリクロロエタン	☐	
21	メチル-tert-ブチルエーテル	☐	
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	☐	
23	臭気強度(TON)	☐	
24	蒸発残留物		
25	濁度		
26	pH値		
27	腐食性(ランゲリア指数)	☐	
28	従属栄養細菌	☐	
29	1,1-ジクロロエチレン	☐	
30	アルミニウム及びその化合物		
31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及び ペルフルオロオktan酸(PFOA)	☐	☐

□を実施

農薬は使用されていないので実施しない

水質基準項目と重複する項目は実施しない